

齊藤区長との予算委員会質疑応答

島村: 新年度予算は過去最高になった。防災・子育て・健康・教育・文化など、幅広い分野に新規・拡充事業が並び、「まち」をさらに強くし、「ひと」を育む土台を、より固めようとする方針について高く評価する。

齊藤区政として中期・長期ビジョンを作り上げてきた中で、令和6年度は何を成す時とお考えか、また、将来に何を見据えているのか? その「想い」「意気込み」を問う。



区長: ★令和6年度は、これまで策定してきたビジョン、アクションプランの実践の段階に入る。★サービス面で力を入れていくもの、あるいは時代に合う形で見直しが必要になるもの、さまざまある。施設面でも、新庁舎建設を前に進めるとともに、公共施設の再編・整備にも着手していかなくてはならない。★長期ビジョン、中期ビジョン、そして短期計画である新年度予算のすべてが一つのルールにあり、それを前に進めて行く責務が私たちにはある。★「過去」も「現在」も、そして同じように「未来」も大事。今や、人口も経済も右肩上がりの時代ではないが、そうした推計に抗うと同時に、人口減少が見込まれる中でも区政を持続可能なものとするため、見直すべき部分は見直していく。★「昔の区民も頑張っていたね」と、将来の区民に言ってもらえるよう、様々難しい問題に挑戦していきたい

予算委員会で要望事項を力説!!



街のアクセサリ、モニュメントとして魅力あるトイレを区内各所に設置を!



若手教員の多い本区には教員の授業力向上のために指導主事の増員を!



児童・生徒の読書力向上に鑑み改築校舎の様々な場所に図書コーナーの設置を!



江戸川区名産の金魚をまちの身近な場所に展示を!



区内陸域の7割がゼロメートル地帯の水害時対策としてポンプ所・排水機場の機能強化を図る

災害から命と暮らしを守る「安全・安心のまちづくり」の推進

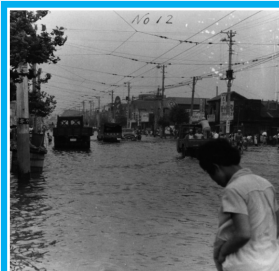
区政への要望第1位は水害対策!!

(第36回江戸川区民世論調査)

- * 水害からまちを守り続けて100年「荒川放水路通水100周年」
- * 大規模浸水を解消させる下水道ポンプ所耐水化推進
- * 小中学校や公共施設への防災カメラ約200か所設置
- * 地域配備消火器4800本、東京消防庁消火器16000本を配備し初期消火率の向上を図る



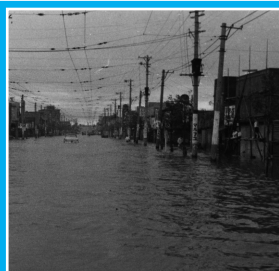
昭和33年 台風11号
旧中川越水状況
区内浸水戸数:約6,600戸
区内被災者数:約2万8千人



昭和33年 台風11号
京葉道路・小松川4丁目付近



昭和33年 狩野川台風
京葉道路・小松川3丁目付近



昭和33年 狩野川台風
京葉道路・小松川3丁目付近



昭和24年 キティ台風
平井駅南口付近

江戸川区議会
自由民主党

令和6年度 予算特集号

江戸川区版

江戸川区議会議員・総務委員長
しまむらかずしげ
島村和成

目指します!
日本一のまちを!!